

## 認知症作業療法 活動報告（概要）

2015年から東京都作業療法士会の特設委員会として、認知症の人と家族の生活支援委員会の活動を継続している。今年度から常設委員会としてさらに事業範囲を拡大し活動中。認知症アップデート研修や「認知症リハビリ最前線!!」と題した認知症フォーラムを毎年開催。認知症関連施策への参画として「超高齢社会と図書館研究会」や医師会主催の「多職種連携会議」に参加。FacebookやTwitterの活用や委員会ホームページを開設し、OT以外にも広く認知してもらえよう広報および情報発信をしている。

## 研修事業

1. アップデート研修（年1回、今年度で3回目）  
都士会各ブロックと協力し、企画と講師の派遣。
2. 都学会セミナー開催（3年連続）  
主に若いOT向けの内容で企画。  
例年100名前後の参加者あり。



委員会オリジナルベストです

## 認知症フォーラム事業（都民、関連職種向け）

2016年、2017年と都民向けフォーラムを開催。ともに200名を超える参加者があった。今年度は介護支援専門員を主な対象として開催予定。

## 調査事業

### 1. 初期集中支援事業に関する調査

各自治体窓口、認知症疾患医療センターにアンケート配布し、初期集中支援事業に関わっているOTについて実態を調査した。回収率65%。疾患センターに関与しているOTは50%、初期集中支援事業はチーム数に対して約20%と少ない状況が分かった。

### 2. 東京都認知症作業療法の実態調査

OT協会が予定している実態調査と関連して、東京都における認知症のOT実態を把握するための調査を今年度中に予定している。

## 広報

認知症の人と家族の生活支援委員会

検索

Facebook、Twitter、ブログで  
OTの視点や日常を発信中！

## 関連団体との共同事業

### 1. 超高齢社会と図書館研究会とコラボレーション

- ◇筑波大学で開催された研究大会に講師派遣と委員参加（9.28）  
図書館司書、行政司書等他職種とディスカッション
- ◇「本の処方箋プロジェクト」認知症にやさしい図書館づくり

### 2. 多職種連携パンフレット作成（医師会を中心として作成） →



## 今後の展開

- ・初期集中支援事業に関するアンケート結果を活かし、参画しやすい環境を作る
- ・東京都および、各自治体から認知症に関する委託事業を受けられるようにする
- ・関連職種、家族、当事者等に作業療法の成果を示しながら、継続して連携を深める